

宇商発第826号

令和3年1月6日

宇都宮市長

佐藤栄一様

宇都宮商工会議所

会頭 藤井昌一

栃木県の新型コロナウイルス感染症拡大防止営業時間短縮協力要請
に伴う宇都宮市独自の協力金制度創設に関する要望について

平素は、当商工会議所の事業活動に対しまして、特段のご理解とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

さて、栃木県では、昨年末に新型コロナウイルス感染症拡大の警戒度レベルを「特定警戒」に引き上げ、不要不急の外出自粛など「栃木県特定警戒行動」を県民に要請されたところですが、さらに本年1月5日には、新たに、宇都宮市全域を対象に、酒類の提供を行う飲食店（カラオケ店を含む）に対する、営業時間短縮への協力要請が発出されました。

こうした中で、飲食店事業者の多くは、感染拡大の終息が見えない不安を抱え、新たな業態の導入や感染拡大防止対策の徹底を図りながら、必死に営業を続けており、今回の協力要請により益々厳しい状況になることが懸念されます。

また、こうした状況の下、今回の措置により短期間で実効性を高めるためには、より多くの飲食店事業者の協力が必要であり、そのためには要請に応じてもらうための手厚い支援が不可欠であります。

つきましては、栃木県の営業時間短縮協力金に併せて、宇都宮市独自の協力金制度を創設いただきますよう要望いたします。